【峡南半農半×だより】 第2号

-安全に農作業をするために-

令和7年10月10日 山梨県峡南農務事務所

近年、65歳以上の高齢者を中心に農作業中の死亡事故が増加していますが、農作業は 様々な危険と隣り合わせで、いつ事故が起きてもおかしくありません。

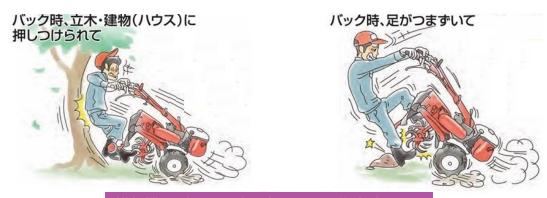
そのため、ちょっとした不注意や油断が、事故を引き起こす原因となります。今回は、 農作業時の安全対策について考えてみましょう。

【農作業に潜む危険】

- 〇農作業には、デスクワークや室内作業とは違い、多くの危険が潜んでいます。 普段から、作業には危険が伴うことを意識しておきましょう。
- 〇機械や器具を使う場合、十分に注意しないと危険な箇所に接触して、ケガをすることが あります。常に、安全確認を怠らず、身の回りの作業環境を整えておきましょう。
- ○猛暑や作業疲れによる体調不良や注意不足も、怪我や事故等につながります。 十分な休息とこまめな水分補給を心がけましょう。

【小型耕運機の注意点】

- 〇圧倒的に多いバック時の事故(図①)
 - → 後ろの立木や構造物に注意して、作業を行います。



耕耘機のバックは、必ず振り返って後方確認を!

(図①) バック時の注意点

- 〇固い土・石等によるダッシング*1 やキックバック*2
 - → 無理に深く耕うんせず、浅く数回に分けて耕すようにします。
 - → ロータリーと足の位置は、常に余裕を持って作業します。
 - **1:ダッシングとは、土が固いほ場で、ロータリー爪が刺さらず、機体が急に前方へ押し出されること。
 - **2: キックバックとは、回転している刃が地中の硬い障害物に衝突することで、反動が本体に戻り、その勢いで機体が跳ね返されること。

【刈り払い機の注意点】

- ○傾斜面や法面での不安定な姿勢による事故
 - → 斜面は下から一定の幅で横に刈っていき、徐々に登っていきます。また、滑らない よう足下にも注意します。
- ○回転刃の事故(接触、飛散物)(図②)
 - → キックバックや小石、チップの飛散を防ぐための防具着用を徹底します。
- ○事前の環境確認で防ぐ事ができた事故(図③)
 - → 草むらの中に、構造物や異物が潜んでいないか、事前に確認します。
- 〇エンジンを止めずに起こった事故(図④)
 - → 草の詰まりなどを除く際には、確実にエンジンを切ってから行います。







(図③) 事前の環境確認



(図④) 作業中断時はエンジン停止

【脚立の注意点】

- ○設置時の転倒事故
 - → 最下段に乗って、体全体で脚立の脚を踏み込みます。
- ○作業中の転倒事故
 - → 天板に乗らない、開脚防止チェーンをかけます。
- ○作業中の落下事故(図⑤)
 - → 作業箇所が少しでも離れたら、身を乗り出さず、こまめ に脚立を移動して、間近で作業できるようにします。



(図⑤) 脚立から身を乗り出さない

〈出典〉図①~⑤:農林水産省 農作業安全の啓発資料(SERIES)

【結びに】

山梨県では、農業者の安全意識の向上を図るため、農繁期を迎えた6月と農作物の収穫期に当たる10月を「農作業安全推進月間」と位置づけ、関係機関とともに啓発活動などに重点的に取り組んでいます。

農作業事故は、農業用機械の使用中、高所作業中に多く発生しています。機械操作の注意に加え、日頃からほ場の環境整備にも心がけていただき、皆さまが安全に作業できますことを願っております。

問い合わせ先 山梨県峡南農務事務所(峡南地域普及センター)

農業農村支援課担い手育成担当 住所:市川三郷町高田111-1 電話番号: 055 - 240 - 4116